

令和8年度 新入生保護者説明会

西原中学校PTAの 現状と今後について



PTA会長

小林 佑次 (令和4～7年度)



協力



参加



成長

さいたま市立西原中学校 PTA



PTA会長

小林 佑次

在任期間: 令和4年度 ~ 令和7年度

現在、会長を務めて4年目です。

私の子どもは、現在3年生のため、
来年5月の総会をもって会長任期を
満了します。

本日は、これまでの経緯と現状を、
包み隠さずお話しします。

私たちの合言葉

「無理なく」
「できる範囲で」
「子どもたちのために」

≡ 本日のご説明内容

- 1 現在のPTA体制 (4名での運営)
- 2 これまでの変遷 (30名体制→4名へ)
- 3 保護者を取り巻く環境の変化
- 4 学校側から見たPTAの価値
- 5 令和8年度の課題 (重要)
- 6 今後の選択肢と方向性
- 7 具体的に必要なこと

PTAとは？



Parent

 親（保護者）

+



Teacher

 先生

=



Association

 団体

保護者と先生が協力して **子どもの健全な成長を支えるための**
社会教育団体



PTAは保護者の会ではなく、「先生と保護者の会」です。

現在のPTA体制 (令和7年度)

PTA



↓ 約87%
縮小



♥ 「子どもたちのために、無理なくできることを」



～ 令和4年度

従来の大規模体制

約30名

本部役員
専門委員会
地区委員会



令和5～6年度

活動内容の削減

負担軽減

人数維持・活動削減
✓ 無理のない活動へ



令和7年度（現在）

専門委員会の廃止

廃止 専門委員会

✓ 小さなPTAへ



令和8年度（来年度）

最小限の機能へ

廃止 地区委員会

約5名体制

✓ 学校行事のサポート特化

BEFORE: 30名体制



AFTER: 5名程度



シンプルで
持続可能な形へ

「やらされる」から「支える」へ

社会背景・家庭環境



共働き世帯の増加

フルタイム勤務の保護者が増え、平日の日中に時間を確保することが難しくなっています。



家事・介護・育児の多重化

仕事だけでなく、家事や親の介護、兄弟姉妹の子育てを同時にこなす家庭が増えています。



時間の余裕がない

休日も家族の時間や休息に充てたいというニーズが高まり、活動への参加が困難に。

実際に寄せられる声



「仕事が休めないので、平日の会議には出られません...」



「役員を引き受けるのは、精神的にも時間的にも負担が大きすぎます」



従来のような「大勢で集まる活動」の継続は困難

だからこそ、これからの西原中PTAは...



**負担を抑えた
「小さな体制」へ**

(行事サポート中心・スリム化)

“

「学校の思い」と「保護者の思い」に
ズレが生じないように、
保護者（PTA）の生の意見を聞けることは
とても貴重です。



校長先生・教頭先生より
(PTA本部会にて)



学校と保護者が協力し、より良い学校づくりにつなげる架け橋

現在の深刻な状況



候補者が「不在」

現時点で、**次期会長・役員候補がいません。**

誰も手を挙げていない状況です。



現役員の半数が「退任」

現在の4名のうち、2名はお子さんの卒業に伴い、退任となります。

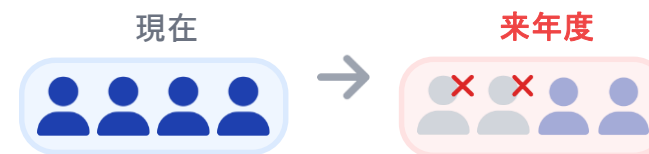


無理な継続は求めない

残る2名も任期は1年です。

あくまでボランティアのため、無理強いはできません。

現体制(4名)の変化



卒業による退任に加え、
新入生からの候補がいらっしゃるか...



見通しが立ちません

このままでは、令和8年度以降の
PTA維持・運営が困難です。

現在のPTA資金残高

300万円超

40年にわたって各年度の過不足がありながら、少しずつたまった資金
(コロナ禍で中止になった事業費なども含まれています)

資金の用途

各年度で予算不足が生じた際の充当
周年行事などでの学校への補助(まとまった金額)

学校予算の現状とニーズ

学校の公費予算は限られています
老朽化した機器更新、部活動補助などで追加資金が必要

近年のシフト

独自事業を削減 → 学校活動への補助へ

▲ もしPTAがなくなったら...

資金が使えなくなる恐れ

使用決定主体がいなくなり、有効活用できなくなる可能性。

返金は困難です

現実的に40年間の保護者への返金は難しく、これは歴代の「共有財産」です。

 この大切な資金をどう扱うべきか？



保護者の皆さん全体で丁寧に話し合い、決めていく必要があります

選択肢 A



小さなPTAとして存続

本部5名程度で運営

学校行事サポートに特化（独自事業は行わない）

✓ 会合は必要最小限で実施

これまでの流れを踏襲

選択肢 B



学校行事ごとにボランティア募集

その都度お手伝いを募集

「説明・調整・とりまとめ」が必要
(結果として、小さなPTAは必要・・・)

✓ PTAという名称にこだわらず機能重視

ボランティア主体



いずれも、在校生保護者の皆さまで判断いただくことになります
「どうするのが一番よいか」を、皆さん自身で話し合い、決めていってください。

令和8年度の役員（事務局員）の募集を行いますので、
ぜひご協力をお願いいたします。



主な役割

学校行事のサポートや
ボランティアさんとの連絡調整が
中心となります。



無理のない体制

会議は必要最小限に抑え、
負担の少ないスリムな活動を
目指しています。



随時募集中

まずは「話を聞いてみたい」
だけでも大歓迎です。
ぜひご連絡ください。

活動のポイント

ハードルを上げずに、
できることから始めませんか



単発参加 OK

行事当日のみなど



未経験 歓迎

初めての方でも安心



できる範囲で OK

無理強いはしません

PTAは義務ではなく、「気持ち」で成り立つ組織です。

無理なく できる範囲で 子どもたちのために

これからの形を決めるのは、学校でも役員でもなく、在校生保護者の皆さま自身です。
令和8年度以降の在り方は、皆さまでご判断いただければ幸いです。

 役員募集は随時行っています（後日、学校HPにも掲載を依頼いたします）

ご清聴 誠にありがとうございました